

おはなし トレイン



0～2歳

『ピーピー ばっくしまーす』



かたやま けん さく
片山 健/作
ふくいんかんしよてん
福音館書店

「ピーピーばっくしまーす」と言ってねずみが後ろ向きで線を描いていると——どん! ねずみとうさぎのおしりが、ごっつんこ。今度はうさぎが「ピーピーばっくしまーす」をしていると、またまた——どん! 次はだれとおしりがごっつんこしたのかな? 繰り返される言葉の響きが心地良く、一緒に声に出して言ってみたくになります。

0～2歳

『おおさむ こさむ』



まつたに みよ子/文
えんどう てるよ/絵
かいせいしゃ
偕成社

わらべうたは赤ちゃんが^{あか}出会う^でお話^{はなし}への入り^い口^{ぐち}です。耳^{みみ}から入^{はい}るメロディー^{はい}にのった^{ことば}言葉^{ことば}が、想像^{そうぞうりよく}力を^{そだ}育て、豊^{ゆた}かな心^{こころ}の源^{みなもと}となります。「おおさむこさむ」と繰り返^くしながら、山^{かえ}からやっ^{やま}てくる動物^{どうぶつ}たち。ちょっぴり^{せつ}切^{かし}ない歌詞^{じだい}には、時代^こを超^{かた}えて語り^つ継^ふがれる不思議^{ふしぎ}な力^{ちから}があります。はじめ^よての読み^き聞^きかせにも^よぴったり^きです。

3・4歳

『こぶたのまーち』



むらやま けい こ
村山 桂子/さく
ほりうち せい いち
堀内 誠一/え
ふくいんかんしよてん
福音館書店

どう
父^{とう}さんが「とてとてぷっぷっぷっ……」とラッパ^{らっぱ}を鳴^ならすと、る^なーの^{けい}稽古^こが始^{はじ}まります。何^{なん}度^どやっ^やてもうま^まくいかず、ラッパ^{らっぱ}が大^{だい}嫌^{きら}いになっ^なってしま^{しま}ったる^らーは、ある日^{ある}どう^{どう}とう家^かを飛^とび出^でします。す^すると、思^{おも}いがけ^けないこと^{こと}が待^まっていま^{いま}した。苦^{にが}て^て手^てなこ^こにむ^むきあ^あう子^こども^{ども}の姿^{すがた}を、味^{あじ}わい深^{ふか}い^いタッチ^{タッチ}で描^{えが}いた絵本^{えほん}の復^{ふっ}刊^{かん}です。

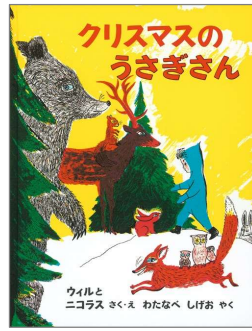
『ぼくにげちゃうよ』



マーガレット・W・ブラウン/ぶん
クレメント・ハード/え
いわた みみ/やく
ほるぶ出版

「ぼくにげちゃうよ」と、姿を次々と変えて逃げるこうさぎを、かあさんうさぎも変身して追いかけます。親子の追いかっけこは、ユーモアにあふれ、母親の包み込むような愛情が感じられて、思わず笑顔になります。ぜひ絵の中のうさぎたちを見つけてください。親子でやりとりを楽しみたいくなります。

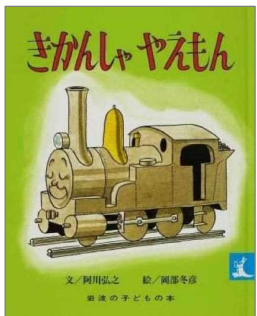
『クリスマスのうさぎさん』



ウィル/さく・え
ニコラス/さく・え
わたなべ しげお/やく
ふくいんかんしょてん
福音館書店

明日は、待ちに待ったクリスマスです！デービーは、そわそわした気持ちを落ち着かせようと、雪の森へ出かけていきました。森の奥では、動物たちが集まっています。何かが始まるようですよ。心温まるお話と、動物たちの表情が楽しいおしゃれな絵も魅力的。何度でも開いて、一生の宝物にしたい絵本です。

『きかんしゃやえもん』



あがわ ひろゆき ぶん
阿川 弘之/文
おかべ ふゆひこ え
岡部 冬彦/絵
いわなみしょてん
岩波書店

「わかいころには しゃあ たくさんひとをのせて しゃあ」と機関車のやえもんは、いばってみせますが、年を取りくたびれていました。そんな様子を電気機関車が笑います。怒ったやえもんは火の粉をはき、大変なことが起こるのでした。日本の鉄道開業150周年に、お子さんと機関車のお話を楽しんでください。

『このゆきだるまだ一れ？』



きしだ えりこ ぶん
岸田 衿子/文
やまわき ゆりこ え
山脇 百合子/絵
ふくいんかんしょてん
福音館書店

雪がつもったある日、もみちゃんがそりを引いていると、森のどうぶつたちが「のせて」とやってきました。みんなでそりに乗って、さあ出発！ところが次々にころげ落ちてしまい、そりにはもみちゃんだけ。すると見たことのないゆきだるまが現れて……。山脇百合子さんの絵が、とてもかわいらしい1冊です。